

KUMAMOTO YMCA NEWS

THE YOUNG MEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION

YMCA January 2015 vol.512

1



ながみねファミリー YMCAクリスマス祝会

- C O N T E N T S**
- ① 新春座談会 共に支え合う社会づくりに向けて
 - ② 国際協力青少年育成年末募金街頭募金/市民クリスマス「陣内大蔵チャリティコンサート」
 - ③ YMCAフィランソロピー協会チャリティブチ駅伝大会/サッカーフェスティバル Youth Act Vol.10 YMCA大会に参加 服部かおりさん
 - ②・③ REPORT 熊本・大邱YMCA役員協議会/日台YMCA連絡委員会/日本YMCA大会/生涯学習セミナー
 - ④ タラント No.10 「新たな器に希望を」 Topics YMCA学院/高等学校/上通YMCA

新春座談会 共に支え合う社会づくりに向けて 熊本YMCAの課題と挑戦

熊本YMCAでは、2014年度から2016年度にかけて取り組んでいる「共に支え合う社会づくり3カ年計画」を実現するために、「新たな会員運動の展開」「地域に必要なとされるYMCA」「世界と地域を見つめ、考え行動できる青少年の育成」の3つの柱を掲げています。



(中央)菅正康さん 医師。熊本YMCA会長、ひがしワイズメンズクラブ所属。
(左)島優子さん ピアニスト、上通YMCAのドイツ語講師。一昨までは熊本YMCA常議員を務め、現在はメンバーシップ運営委員。
(右)藤本義隆さん 日本で一番若いYMCA常議員。むさしYMCA運営員、阿蘇ワイズメンズクラブ所属。18歳から水泳・体操・キャンプのリーダーを務める。

わたしと聖句

ルカによる福音書 7章47節

この人が多くの罪を赦されたことは、わたしに示した愛の大ききで分かる。

多く赦され、多く愛する

久しぶりに干し柿を食べました。ひと口かじると口の中に濃厚な甘みがトロリと広がり、何とも言えない幸福感を味わいました。淡くても食べられない柿が、皮をむかれ、天日浴びると、見事なスイーツに変身しま

す。なんという恵みでしょうか。

さて、多くの罪を犯した女性が、主イエスに出会い、神の大きな赦しを経験しました。彼女は、罪赦された喜びにあふれ、主イエスの足を自分の涙でぬらし、髪の毛でぬぐい、足に接吻し、香油を塗りました。彼女なりに感謝と敬意を精一杯に表したのです。そのとき主イエスが言われたのが、冒頭のみことばでした。罪深く、悲しみに満ちた女性でしたが、赦しを通して、彼女のうちから愛が湧き出てきたというのです。

人には誰にでも罪、弱さ、過ちがあり、悲しみ、失望、後悔を味わいます。でも、あなたが、神の前でそれらを包み隠さず告白すると、神は無制限に全てを赦し、あなたを恵みの中に置いてくださいます。心を裸にして、神の赦しを信じ、愛の光を浴びていると、あなたの悲しみもいやされ、甘い愛に変えられていくでしょう。その愛が、あなたを神と人への奉仕へと駆り立てていくのです。

日本福音キリスト教会連合熊本キリスト教会
原口 泉

今回は熊本YMCA会長の菅正康さん、メンバーシップ委員の島優子さん、熊本YMCA常議員で昨年11月に実施された日本YMCA大会(3面)に関連記事の実行委員を務めた藤本義隆さんに、熊本YMCAの課題や、今後の取り組みなどについて語っていただきました。

次の世代を担うユースを育てる



藤本 今回、全国のYMCA関係者300名以上が集って開催された日本YMCA大会に初めて参加しました。実行委員に選ばれましたが、最初は何をすればいいのかもわからず、どのような催しになるのか想像もできませんでした。しかし今は「もっとみんなを誘えばよかった」と思えるほど、気づきが多く、今から自分が何をしなければならぬのか、何をやりたいのかが見えてくる大会でした。何より、とても楽しかったです。



日本YMCA大会で司会を務めた藤本さん

熊本YMCAが掲げる3つの柱の中で、私が主に取り組みたいのは青少年育

成です。大会を通して、リーダー、学生、運営委員やワイズメンズクラブ、職員という枠にとらわれないことが大切だと実感しました。就職、結婚、子育て、一人親など、若者が抱える課題も多岐にわたり、社会の様々な問題に目を向けることの必要性も感じました。大会中にはいろいろな課題について話し合いました。熊本YMCAでも若い人たちが集まり、話し合い、対外的にセミナーなどが開けるような企画を提案していきたいと思いました。



菅 私30年前はユースでしたが、ユースが育つ時は、必ず周囲で育てようとする意識が働きます。藤本さんは、日本YMCA大会の総合司会という

ていくことが、地域の原動力になると思います。

YMCAに集う すべての人が響き合うために



島 私はメンバーシップ委員の一人として「新たな会員運動」に取り組んでいきたいと思っています。

熊本YMCAはとても大きな組織で、すばらしくもある一方、外から見ればわかりにくい面もあります。私は、週に一度、上通YMCAでドイツ語を教えているのですが、プログラム参加者の中には上通以外にYMCAがあることを知らない方もいらっしゃいます。そのことを聞くたびに残念に思います。せっかくすばらしい組織に関わっているのに、ほんの一部分しか見えていないのです。

私は、熊本YMCA会員という立場になり10数年経ちますが、8年前に自分が常議員になったときにやっと自覚が生まれてきました。深く関わらなければYMCAのために貢献しようという気持ちが生えないのかもしれない。ぜひそのような気持ちになる人を一人でも二人でも増やしていきたいと思っています。

YMCAには様々な立場の人が集いますが、皆さんとしてはどのような方向に会員を導いていきたいと思われませんか?

菅 会長はオーケストラでいえば指揮者。会員には

いろいろな人がいて、いろいろなパートを担っています。この人は何が得意なのか、この人はどんなことで目が輝くのか、ということを探るのが会長の仕事です。会員一人ひとり「あなたが主人公」です。そして観客は市民。市民に感動を与えなければ意味がありません。熊本YMCAに関わる人は約9000人です。語学教育やウェルネスのプログラムを受講する参加者もYMCAの一員。9000人のパワーを集結した「オール熊本YMCA」で臨んでいきたいと思えます。

島 地域の皆さんに喜ばれる活動をしていきたいですね。指揮者の下にはコンサートマスターがいる、さらにそれぞれのパートのリーダーが小さなグループをまとめます。YMCAでも小さなグループをまとめるリーダーをユースの皆さんに担っていただけたらと思います。

一人ひとりの「賜物」を活かして使命の実現を

菅 お二人の夢を聞かせてください。

藤本 YMCAに集う一人として、次世代のリーダーの育成とユースによる社会参加をモットーに、様々な壁を越えて人と社会とYMCAに変革をもたらしたい。メンターの方々にも、若者のリーダーシップを活かすように、光をさして道を示してほしいと思えます。



る熊本YMCAに関わる人は、皆さん愛と奉仕の精神にあふれる人。そのような人の周囲には同じように愛と奉仕の精神にあふれた人が集まります。その輪がどんどん膨らみ、大きな組織になって一人ひとりが幸せを感じられるようになってほしいですね。また、「地域になくてはならないYMCA」として認められるためにも私も何かできることを探して貢献していきたいと思えます。

菅 YMCAが地上から消えたら、世界に争いは避けられない。それほど大きな使命を持った団体だと私は考えています。YMCAの社会的な使命をもっと積極的に周囲に伝える必要があると思えます。そのためには、会員やリーダー、職員といった自分たちの殻を破ってほしいですね。

会員やユースが持つ賜物と職員の賜物をいかにして活かすか。オーケストラのように多くのパートリーダーが生まれ、それぞれに個性を活かす活動ができるように、皆さんの後押しができればと思っています。

国際協力青少年育成成年末募金街頭募金を実施

熊本YMCAでは、年末から翌年1月にかけて国際協力青少年育成成年末募金に取り組んでいます。その一環として、11月29日(土)の阿蘇市を皮切りに12月21日(日)まで、6日に分かれて、県内12カ所と福岡県大牟田市1カ所で街頭募金



を実施しました。YMCAのプログラムに通う子どもたちや保護者、保育園・幼稚園園児、YMCA学院生、YMCAの活動を支える運営委員や職員など、約670名が参加。558,730円の募金が集まりました。

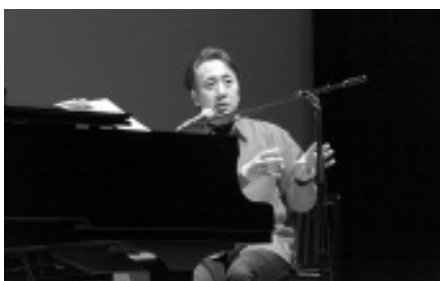
お寄せいただいた募金は、青少年の育成、国際協力・地域奉仕活動や災害復興支援など様々な目的のために用いられます。1月末まで、各YMCA窓口、郵便振替等でも受け付けています。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

陣内大蔵チャリティティンコンサート

12月16日(火)、くまもと森都心プラザホールにて、市民クリスマス2014が開催されました。ミュージシャンであり牧師でもある陣内大蔵さんを迎えてのチャリティコンサートに220名以上が来場。陣内さんから、クリスマスソング、讃美歌、オリジナル曲と共

に、クリスマスソングのメッセージが送られました。

このコンサートの益金が、東日本大震災の被災地支援などに用いられることに触れ、自身の被災地訪問や支援活動についても語られました。



REPORT

熊本と大邱YMCAの役員が協議

■日程/2014年11月14日(金)〜16日(日)
■場所/韓国大邱

「ユース育成の協働〜新たなプログラム開発〜」をテーマに第22回熊本・大邱YMCA役員協議会が開催され、熊本YMCAの役員と職員計8名が韓国大邱を訪問しました。大邱からは市民団体交流委員長のパク・ソンハさん、熊本からは常議員の立野泰博さんが、若者の現状とYMCAの働きについて発題。グループ協議を行いました。「青少年が意見交換し、寄り添う場が必要」「100周年を迎える大邱で、若者同士が出会う場を提供しては」などの意見を交換。今後、大邱と熊本の青少年交流を活性化していくことが確認されました。



職員 神保勝己

日本と台湾のYMCAが阿蘇で会議

■日程/2014年12月2日(火)〜4日(木)
■場所/阿蘇YMCA

毎年、日本と台湾のYMCA間で国際会議が行われており、今年も台湾の5YMCA、日本国内の日本YMCA同盟を含めた9のYMCAから計36名がセミナーと協議に参加しました。熊本YMCAがこの定例国際会議のホスト役を務めるのは初めてです。福岡女学院大学准教授の徐亦猛さんによる基調講演ののち、日台YMCA



の近年の動向や課題が報告されました。最終日には双方の協力によってユースや若いスタッフの育成、フアンドアイベロップメントに共に取り組むという提案も出され、活発な議論となりました。

職員 富森靖博

優しい気持ちをつなぐ 第19回チャリティフットボール大会

YMCAフイランソロピー協会主催の「第19回チャリティフットボール大会」が、11月23日(日)、菊陽杉並木公園さん・ふれあい広場で開催されました。今年も、児童養護施設や長期入院する子どもたちにクリスマスプレゼントを贈るため、企業・団体が参加。児童養護施設の藤崎台童園・菊水学園の子どもたちも含め、19チーム、95名のランナーが、快晴の空の下、心地よい汗を流しました。

レースは、500mの「レギュラーコース」と、課題をこなす「お楽しみコース」の2コース。サンタクロースやアフロ、学生服などコスプレで大会を盛り上げるチームもありました。「クリスマスは子どもたちにとって大切な

行事。夢を届けたいですね」「短距離でもツライ。来年に向けて練習します」と参加者の皆さん。レースの結果、プレゼンターは優勝した肥後銀行と熊本第一信用金庫に決まり、12月24日(水)に国立病院機構熊本医療センターの小児病棟と藤崎台童園、25日(木)に菊水学園を訪問し、子どもたちに本や玩具などのプレゼントを手渡しました。



サッカーフェスティバル

日程/2014年11月23日(日)

会場/菊陽杉並木公園さんスポーツ広場
青空の下、第32回サッカーフェスティバルが開催されました。YMCAのサッカー教室に通う約200名の子どもたちが日頃の練習の成果を発揮し、心と技術の向上と成長を感じる機会となりました。



YOUTH ACT

Vol.10 YMCAで活躍しているユース紹介

●YMCA大会に参加したキャンプリーダー



服部かおるさん
YMCAキャンプユースリーダー/熊本保健科学大学看護学科2年/宮崎県延岡市出身

たくさんさんの刺激をうけた 日本YMCA大会

YMCAがない宮崎県出身で、熊本に来るまでYMCAの存在を知りませんでした。が、大学1年の夏、大学の先輩に誘われた「あそぶキャンプ」にユースリーダーとして参加したことがきっかけで、野外活動のリーダーを始めました。大学で看護を学んでいるので、子どもたちの発達段階を身近に見られるリーダー活動は、将来の仕事に役に立つと思っています。

実際にキャンプをしてみると、子どもたちと過ごす楽しさにすっかり魅了されました。最初は人見知りしていた子が自然の中のスタッフやリーダーとの関わりで、元気にたくましくなる姿を見ると、キャンプのすばらしさを実感します。

9月には2年に一度開催される「日本YMCA大会」に参加。キャンプ以外のYMCAのことをよく知らないことに気づかされました。興味深かったのが「世界YMCA大会」の報告です。カンボジアでのボランティアに参加した人の話を聞き、想像と現実の違い、海外から見た日本など、様々なものの見方があると感じました。熊本YMCAの海外プログラムに参加してみたいと思います。

今年はリーダー会の仲間とプログラムをつくり、子どもたちの心に残るキャンプをするのが目標です。

YMCAの宝を探す3日間 日本YMCA大会

日程/2014年11月22日(土)〜24日(月)
場所/国際青少年センター(静岡県御殿場)
「第18回日本YMCA大会」が開催され、全国のYMCAから300名以上が参加しました。今回は「BEYOND 越えてゆこう、出会うために」をテーマに、現代社会の中で埋もれているYMCAの「宝」をあらためて探す3日間でした。



熊本YMCAからも3名のユースリーダーが参加。「プランディングとはなにか」の基調講演に始まり、全国の取組みに関するワークショップやアジア・太平洋同盟総事務の山田公平さんによる講演など、これから全国規模でYMCAが変わることを決意した大会でした。

職員 秋寄光輝

現代の子どもの特徴と関わり方 生涯学習セミナーを開催

日時/2014年12月6日(土)14時〜16時
場所/くまもと県民交流館パレアホール
YMCA学院運営委員会主催「生涯学習セミナー」を実施しました。

講師は臨床心理士の岡崎光洋さんでテーマは「現代の子どもの特徴と関わり方」あなたの子どものとどう向き合いますか。約250名が参加しました。



岡崎さんからは「子どもが無事を願う親心が過心配や過指示症になっていないか」、「3K(肯定・気迫・繰り返し)で波線状に成長していくことをイメージしてほしい」など、多くのアドバイスが送られました。

YMCA学院
本田節子

タラント No.10

総主事 岡 成也

新たな器に希望を

新しい年を迎えました。夢や希望をいただき、新たに何かを始めようと決意されている方も... 年末年始は、駅伝、ラグビー、サッカー等、様々なスポーツのTV中継にきぎ付けになり、応援の力が入ります。アスリートたちの映像から、積み上げてきた努力や頑張りを想像することで、多くの感動が与えられます。このことはアスリートたちが「希望」を持って自分を追い込み、人の心を動かすほどの努力を重ねていることによるのだと思います。

YMCAにおいても、様々な活動を通して「人生が変わり」、命が尊ばれるドラマがあり、その中でユースリーダーが育っています。あるユースリーダーは、「小学校の時にYMCAで水泳教室に通い、高校生になって水泳指導のボランティアに関わるようになりました。当時は将来の明確な目標もなく悩んでいましたが、あこがれとなるリーダーと出会って、子どもに関わる仕事に就きたいと考えようになりました。また、カンボジアYMCAを訪問。ストリートチルドレンがいるスラムでのボランティア活動に感動しました。YMCAでこれまでの自分を見直し、たくさんの気づきがありました」とYMCAで大きな希望を得たことを語ってくれました。

私たちは、「希望」があるからこそ、チャレンジすることができるのです。熊本YMCAは、地域社会に貢献をしたいという大きな希望を持って、2つの施設の指定管理者として、チャレンジを行っています。2015年4月より、神様から託された新たな活動拠点「益城町総合体育館・総合グラウンド」の運営が始まります。私たちの希望と共に、地域社会の希望を新たな器で、具現化していけるようにYMCAの総合力を発揮していきたいと思ひます。

熊本バンド結盟139周年早天祈祷会 第19回ボランティアデー

熊本洋学校で教師ジェーンズの薫陶を受け、花岡山でキリスト教を奉じ、この教えを日本全国に宣布しようと誓約した「熊本バンド」の青年たち。日本におけるキリスト教プロテスタントの源流の一つとなった熊本バンドの139周年を記念して早天祈祷会・ボランティアデーを開催します。

■早天祈祷会

日時:2015年1月30日(金)6:30~7:30 ※天候にかかわらず開催 場所:花岡山山頂熊本バンド記念碑前

■第19回ボランティアデー

日時:2015年1月24日(土)9:30~11:00 ※雨天中止 場所:花岡山山頂周辺(鐘掛松一帯) 内容:清掃活動・ぜんざい会 ※各自で軍手・箸・お椀をお持ちください。



お問合せ/熊本バンド139周年記念行事実行委員会事務局 熊本YMCA TEL 096-353-6397 FAX 096-324-7877

TOPICS 地域YMCAにまつわる人・モノ・場所などを順番にご紹介します。

学院生が活躍

学院



9月の熊本県専修学校各種学校連合会体育大会に続き、11月25日(火)から27日(木)にかけて、宮崎県で九州体育大会が行われました。YMCA学院からは、男子弓道(個人・団体)1名、女子バドミントン(個人)1名が出場しました。女子バドミントンは3位入賞し、弓道団体では熊本県選抜が見事優勝しました。また、弓道個人でも同点決勝で、最後に的を当てての優勝でした。

熊本県大会、九州大会に出場した選手の皆さん、本当にお疲れ様でした。

YMCA学院 中島修

カントリーミュージック

高等学校



11月に表現・コミュニケーション学科にて特別講座を行いました。音楽の授業で取り組んでいるトーンチャイムの課題曲に「カントリーロード」が選ばれ、生徒から「せっかくならカントリーミュージックの雰囲気聴きたい」という声が上がったことがきっかけ。牧師の金聖孝さんの紹介で、チャーリー永谷さんのバンドのギタリストに来ていただくことになりました。当日は、「まさにカントリー！」と感動する演奏の他、生徒のトーンチャイムとも共演。生徒たちにとって非常にいい体験になりました。

高等学校 福山裕敏

かもめ保育園

上通



熊本YMCAが英語指導を行っている保育園のひとつ、宇城市不知火町の「かもめ保育園」では、チャンツ(リズムに乗せて英語を学ぶ手法)や歌を通してアルファベットや身のまわりの物、食べ物などを英語で言えるように子どもたちが一生懸命取り組んでいます。

4月からのレッスンで英語はぐんぐん上達。12月に行われた発表会では3つの歌を英語で披露できました。子どもたちや保育士の皆さんとの仕事はとてもやりがいがあります。みんな、これからも英語を楽しんで!

上通YMCA マシュー・ホッフアー

Kumamoto YMCA Network

- 中央YMCA ☎096-353-6391
YMCA学院 ☎096-353-6393
YMCA学院高等学校 ☎096-353-6391
本部事務局・ICR ☎096-353-6397
みなみYMCA ☎096-378-9370
上通YMCA ☎096-352-2344
東部YMCA ☎096-382-6661
ながみねファミリーYMCA ☎096-385-0676
むさしYMCA ☎096-248-6334
水前寺幼稚園 ☎096-362-4141
阿蘇YMCA ☎0967-35-0124
尾ヶ石保育園 ☎0967-32-0213
永草保育園 ☎0967-32-0810
赤水保育園 ☎0967-35-0024
黒川保育園 ☎0967-34-0402
就労支援事業所ウエルビー ☎096-312-1333
リフレスおおむた ☎0944-58-7777
御船町スポーツセンター ☎096-282-4111



キャラクター・ディベロップメント推進中

YMCA学院の専門学校生と高校生が益城町総合体育館にボランティアに行ってきました。内容は熊本のプロバスケットボールチーム「熊本ヴォルターズ」戦の会場整理・片付けで、学生たちは責任を持って行いました。学院では様々なボランティア活動を通して、日々成長できる機会を設定しています。地域や国際社会に貢献できる思いやりのあるリーダーが育ってくれることを心から願っています。(YMCA学院 合志啓恵)



【基本聖句】あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい(ペトロの手紙14章10節)

熊本YMCAの使命 共に生きる社会 ウェルネス活動 地球環境の保全 ボランティア活動 生涯学習の推進 平和な世界

ホームページ www.kumamoto-ymca.or.jp

メールマガジン登録 www.kumamoto-ymca.or.jp/cgi-bin/mail/mail.cgi

